

障害者に関する意識調査（結果）

山梨県福祉保健部障害福祉課

1 アンケート調査の実施時期

平成23年8月～9月

2 県政モニター数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	313人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	56人
合 計		369人

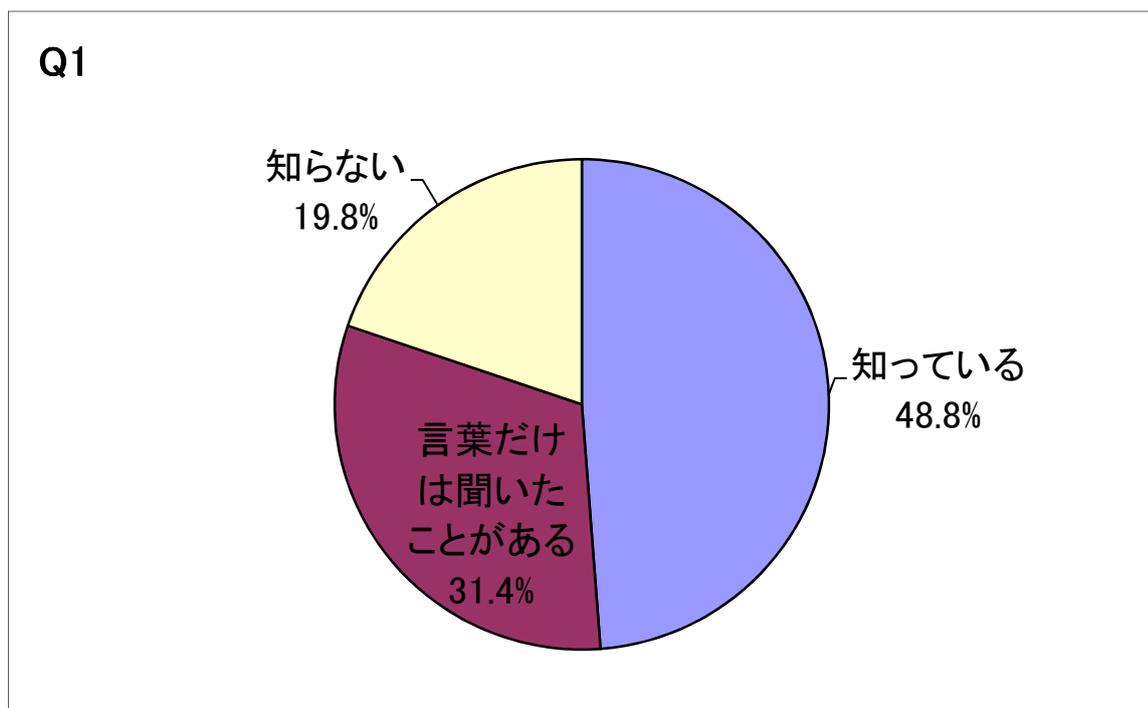
3 回答数

(1) 一般モニター	(郵送によるアンケート調査)	264人
(2) インターネットモニター	(電子メールによるアンケート調査)	40人
合 計		304人

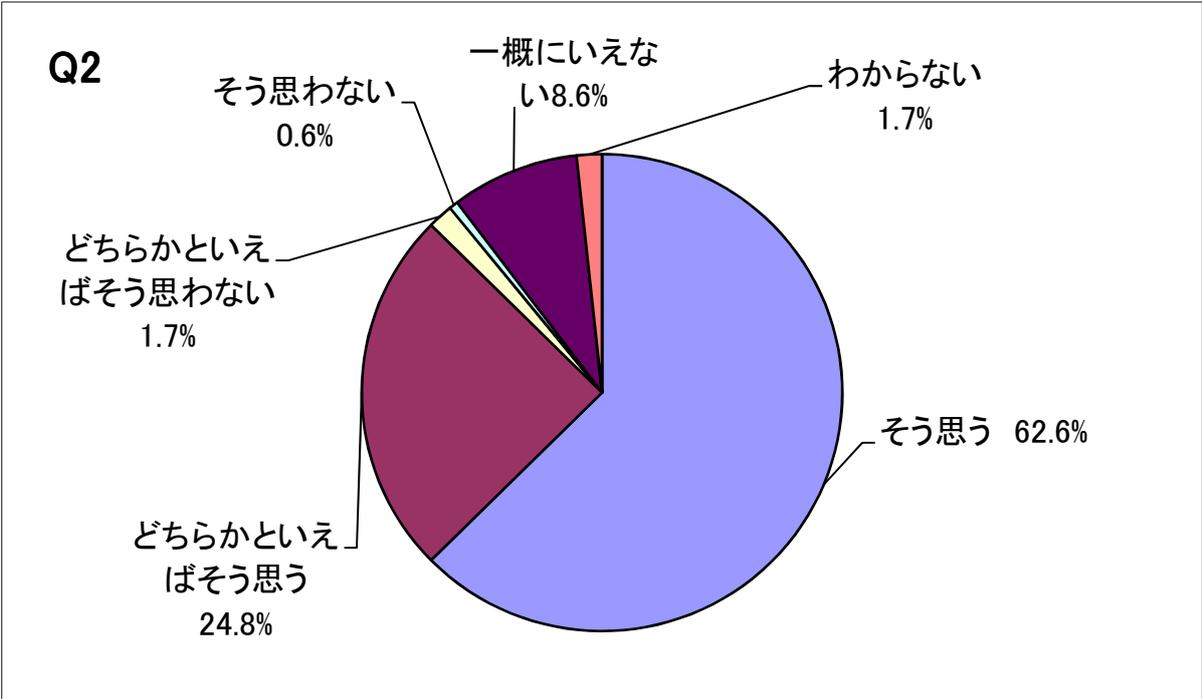
回 答 率 82.4%

4 集計結果

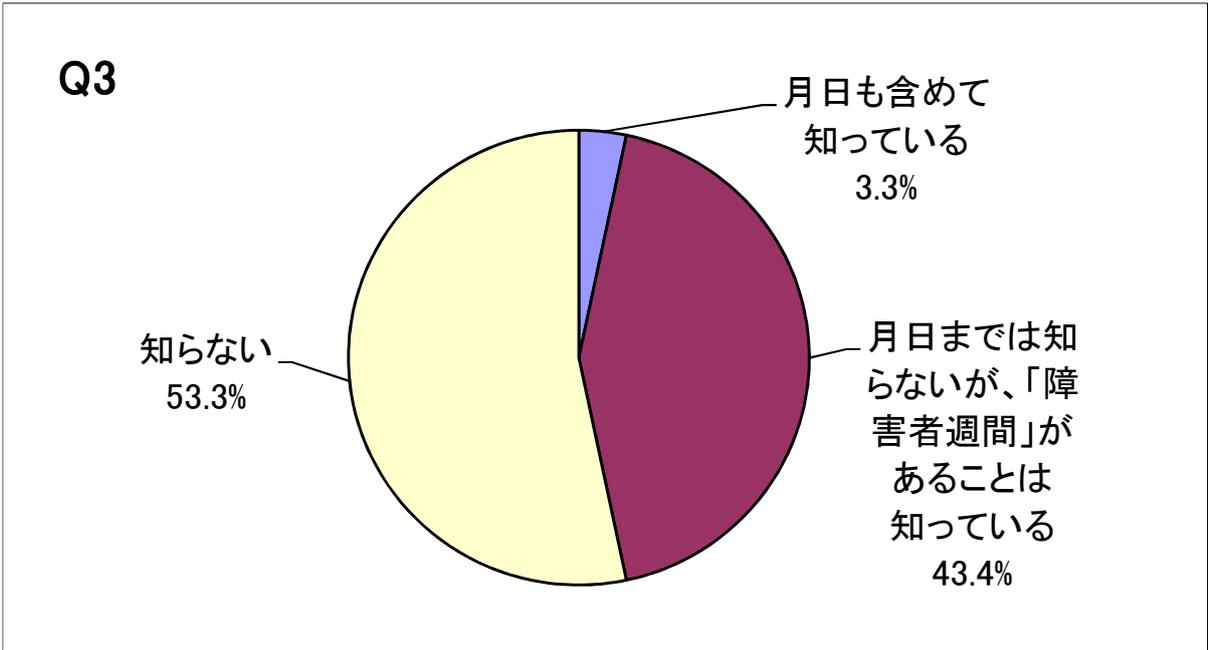
Q1 あなたは、障害のある・なしにかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いを尊重し、支え合って暮らすことを目指す「共生社会」という考え方を知っていますか。



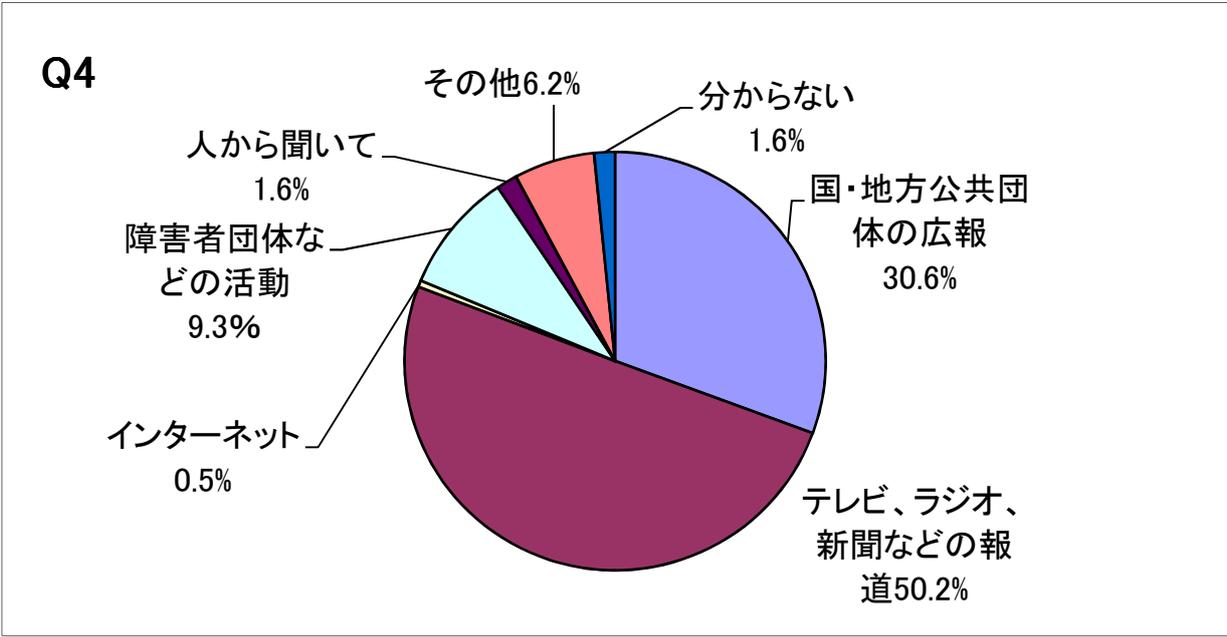
Q2 国や地方公共団体では、「共生社会」の考え方に基づいて、障害のある人もない人も共に生活できるための環境作りを進めています。あなたは、この「障害のある人が身近で生活しているのが当たり前」という考えについて、どう思いますか。この中から1つだけお答え下さい。



Q3 国は、国民の間に広く障害や障害のある人に関する理解と関心を深め、障害のある人の社会参加への意欲を高めるために、毎年12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と決めて、さまざまな取り組みを行っています。
あなたは、「障害者週間」を知っていますか。



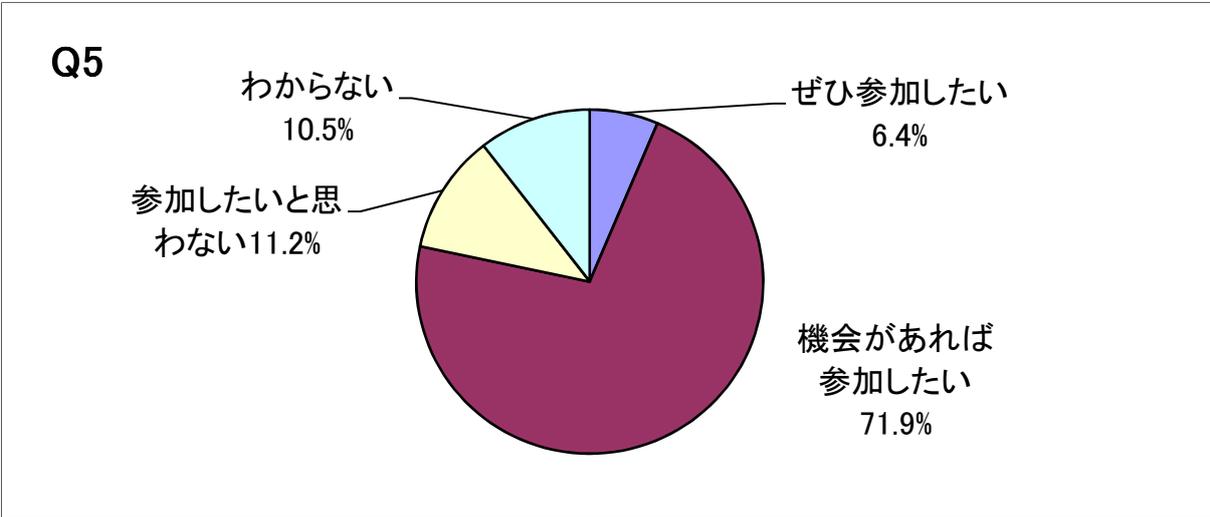
Q4 Q3で「(ア) 月日も含めて知っている」、「(イ) 月日までは知らないが「障害者週間」があることは知っている」と答えた方に伺います。それは何によって知りましたか。この中からいくつかでもあげてください。



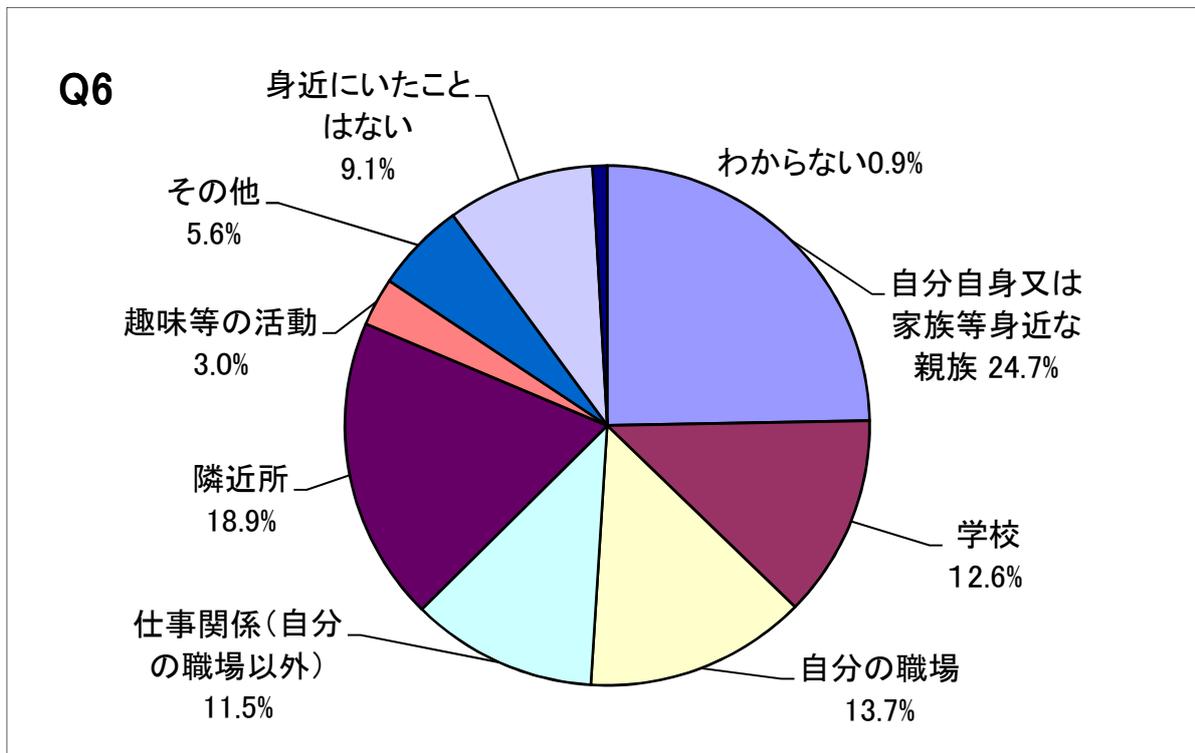
Q5 国や地方公共団体では、「障害者週間」を中心に、障害のある人に対する理解を深めるために、次のようなさまざまな行事や催しを行っています。

あなたは、このような行事や催しに今後参加してみたいと思いますか。

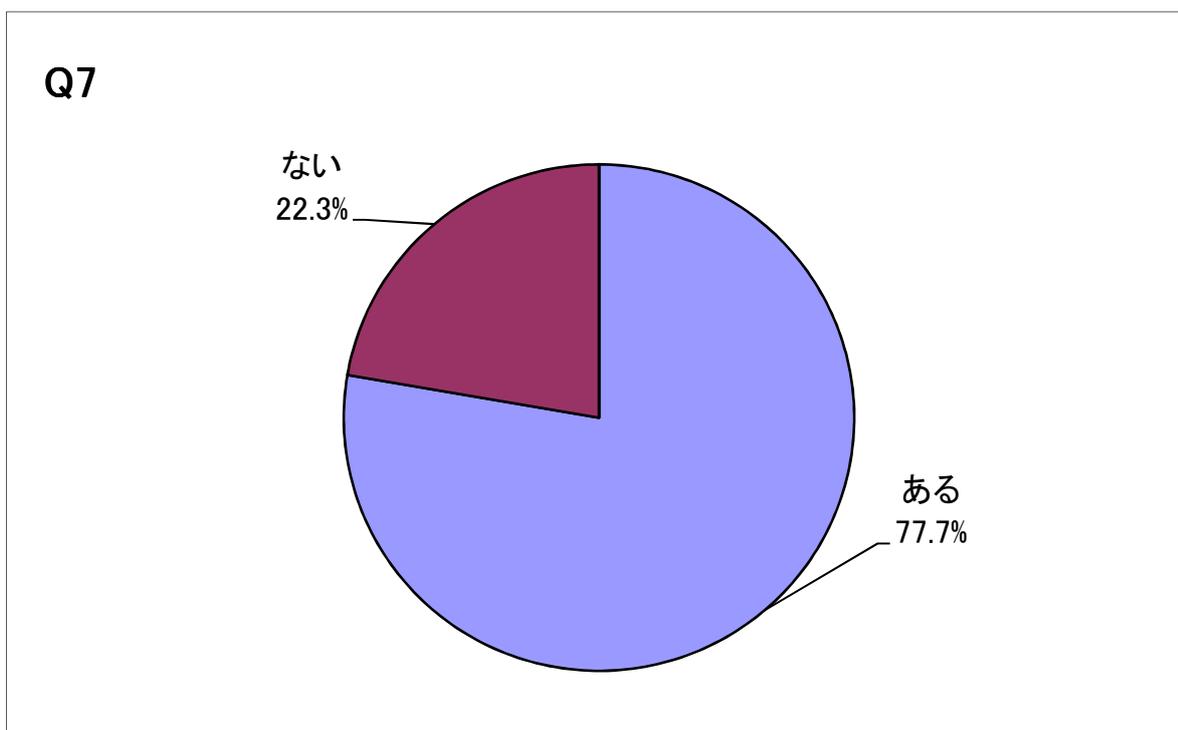
・ 障害のある人のことをテーマとしたセミナーやシンポジウム
・ 障害のある人による演劇・コンサート
・ 障害のある人とともに行うスポーツ
・ 障害のある人が作成した絵画等展示会・作品展
・ 福祉バザー



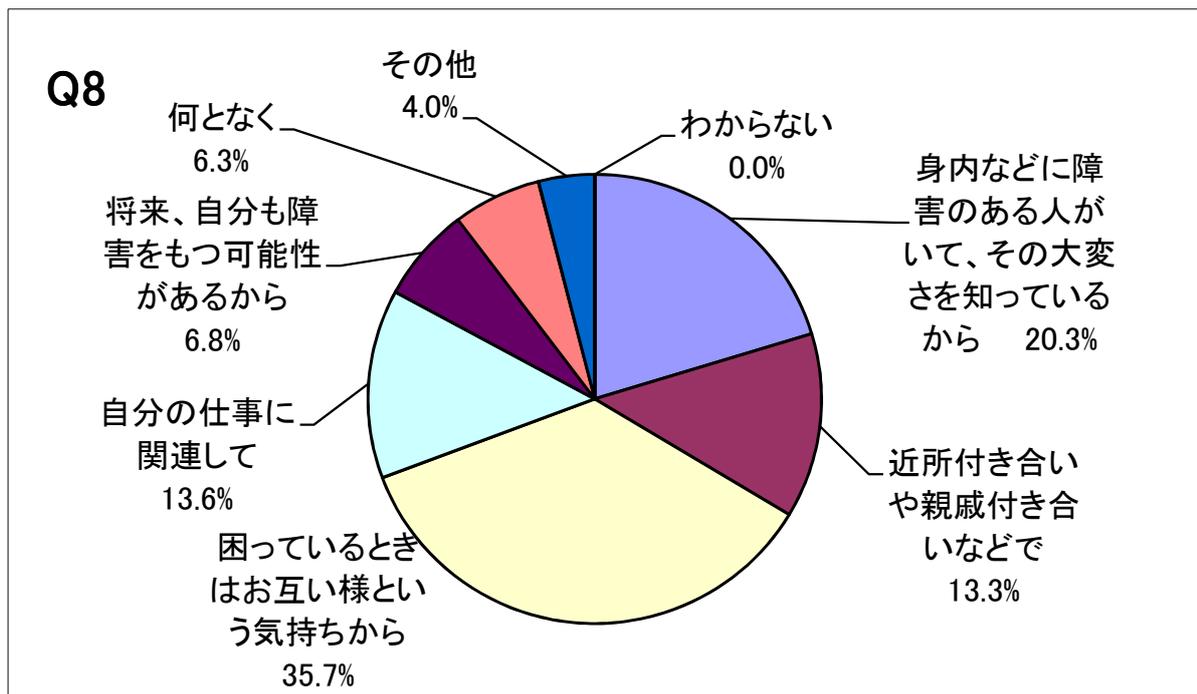
Q6 あなたの身近に障害のある人がいますか、または、これまでいたことがありますか。この中からいくつでもあげてください。



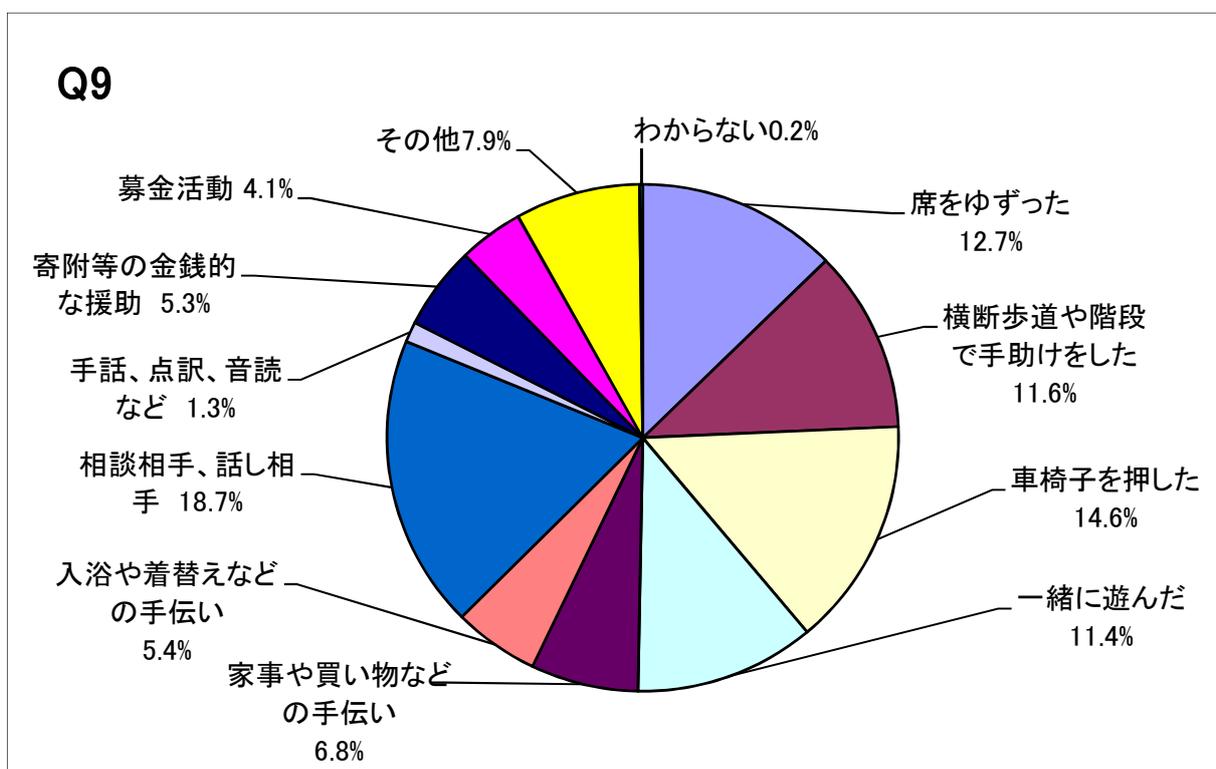
Q7 あなたは、障害のある人と気軽に話したり、障害のある人の手助けをしたりしたことがありますか。



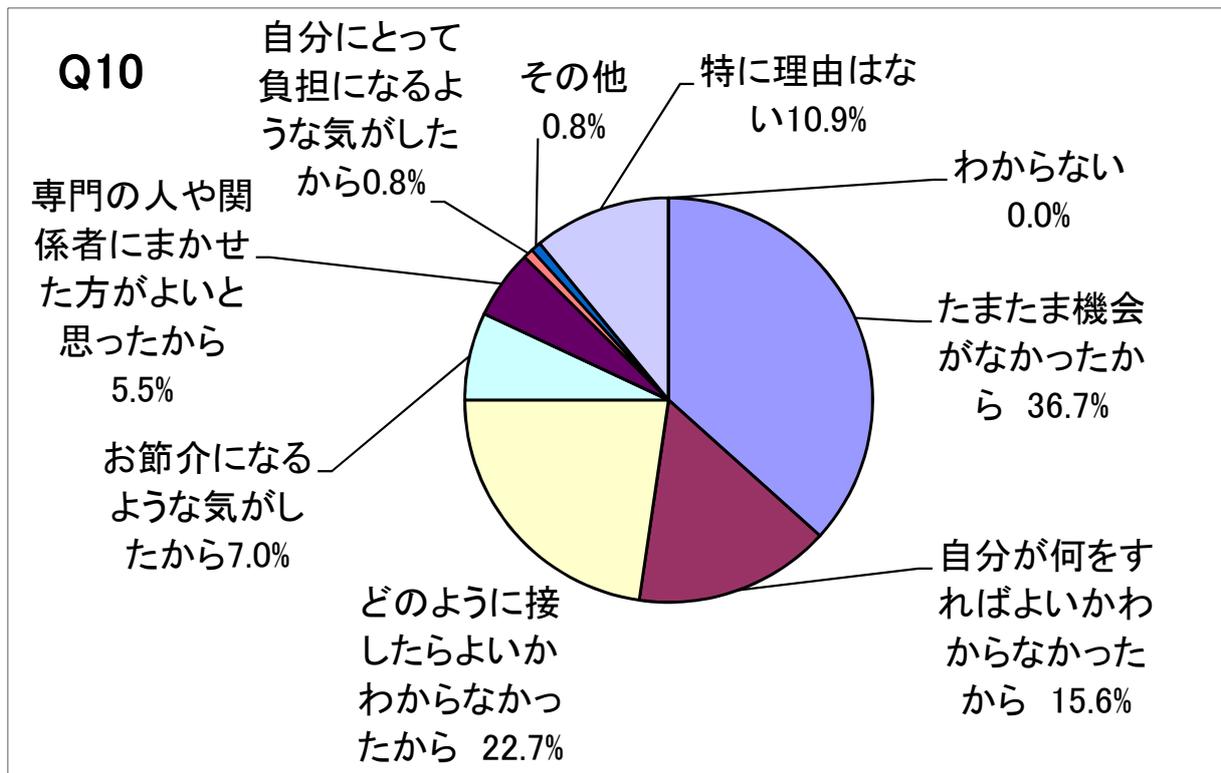
Q8 Q7で「(ア) ある」と答えた方に伺います。それはどのような気持ちからでしょうか。この中からいくつでもあげてください。



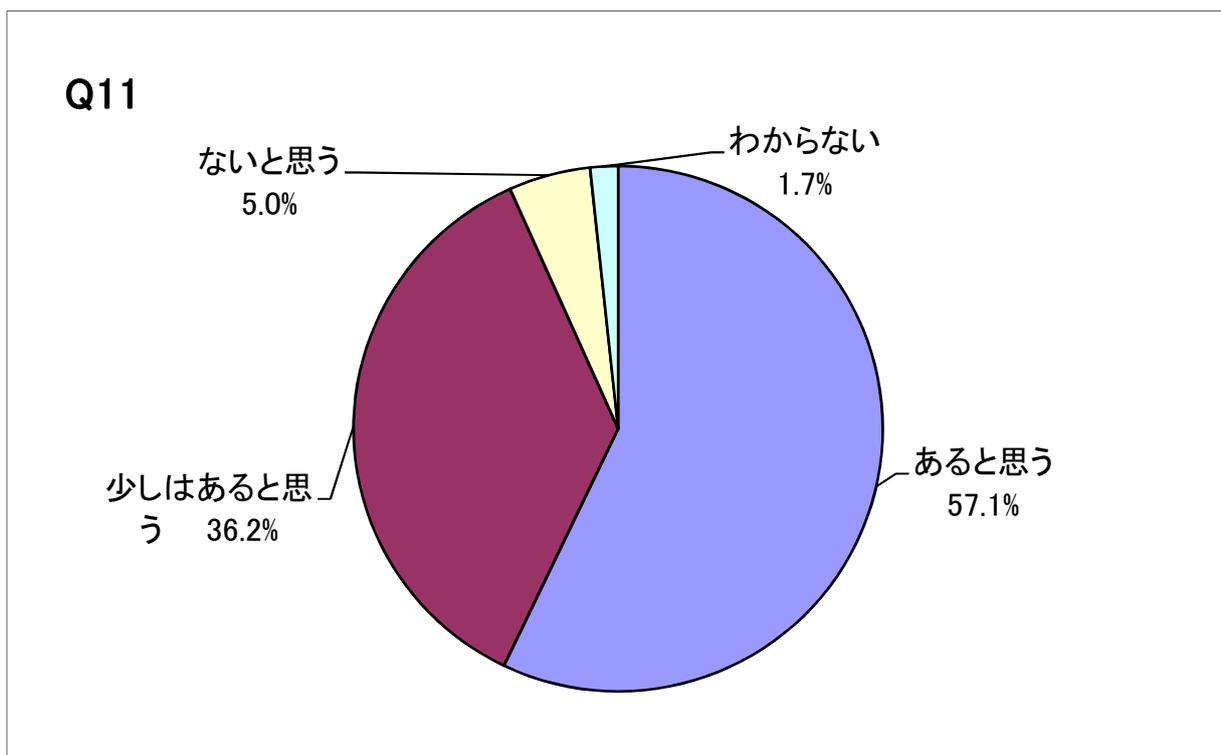
Q9 Q7で「(ア) ある」と答えた方に伺います。それはどのような話や手助けでしたか。この中からいくつでもあげてください。(回答後、Q11へ)



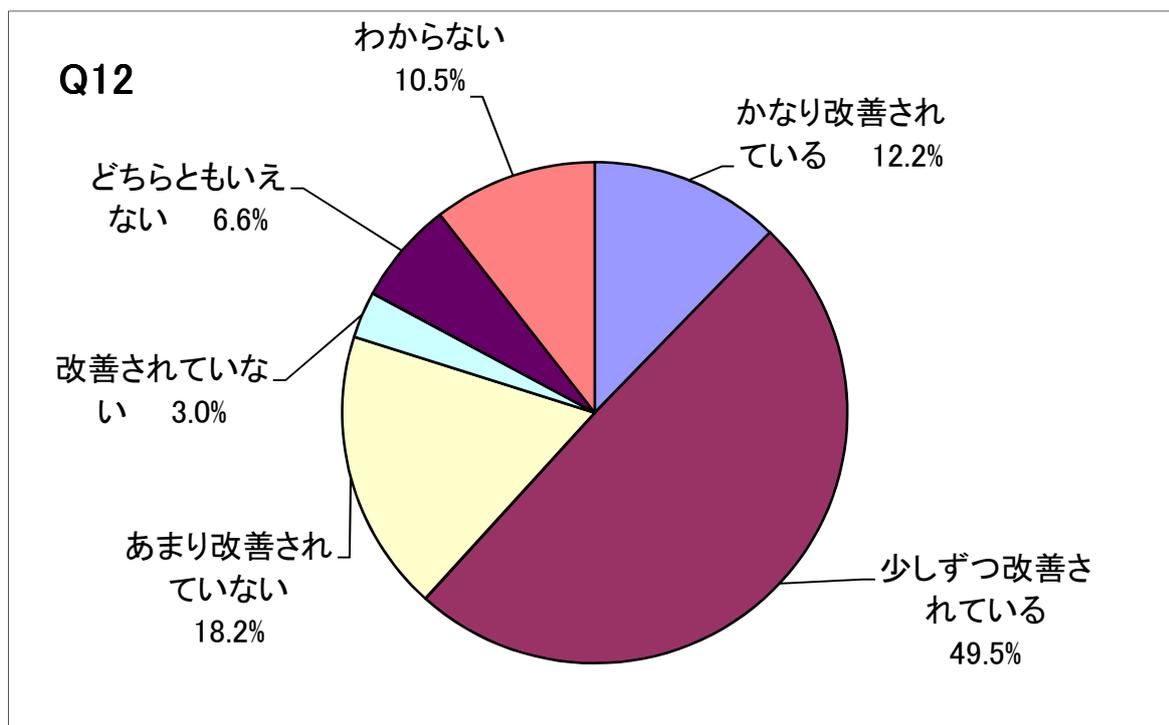
Q10 Q7で「(イ) ない」と答えた方に伺います。なかったのはどうしてでしょうか。この中からいくつでもあげてください。



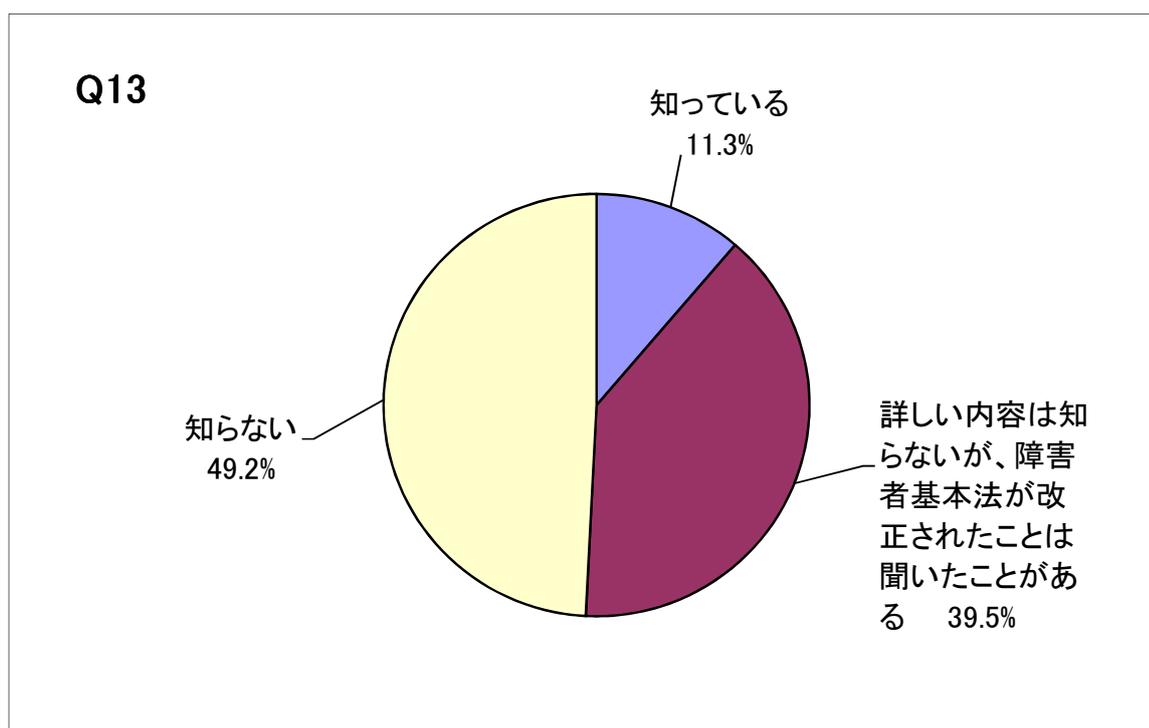
Q11 あなたは、世の中には障害がある人に対して、障害を理由とする差別や偏見があると思いますか。



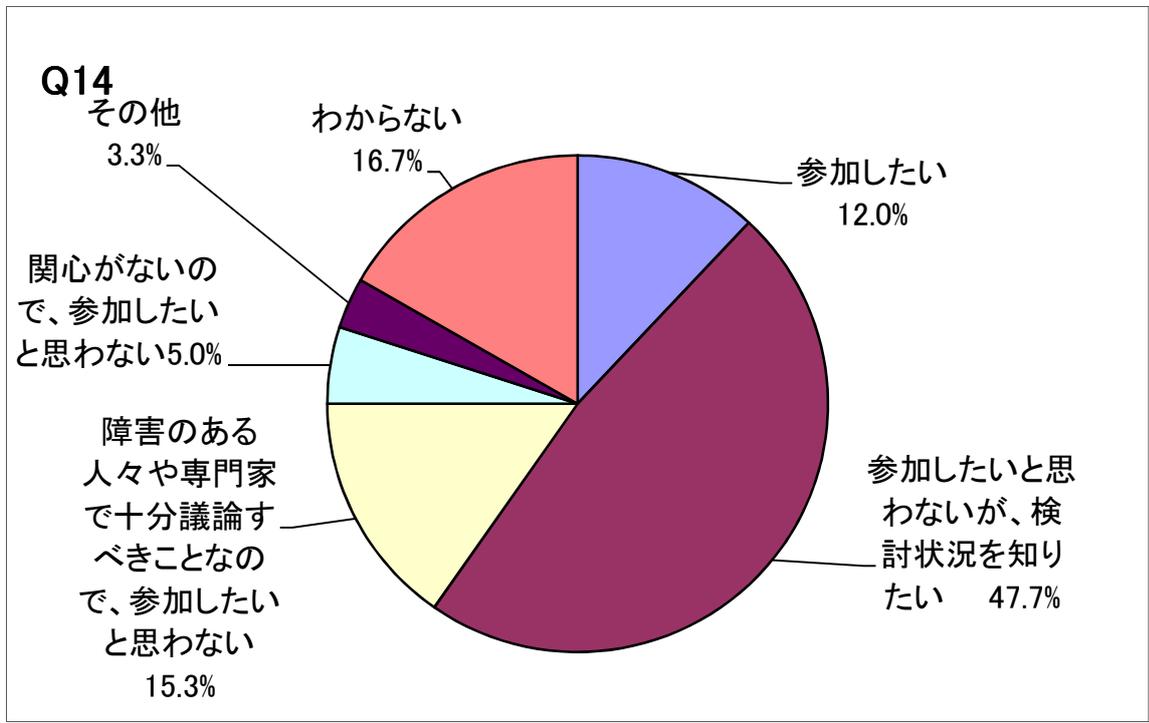
Q12 あなたは、5年前と比べて障害のある人に対する差別や偏見は改善されたと思いますか。



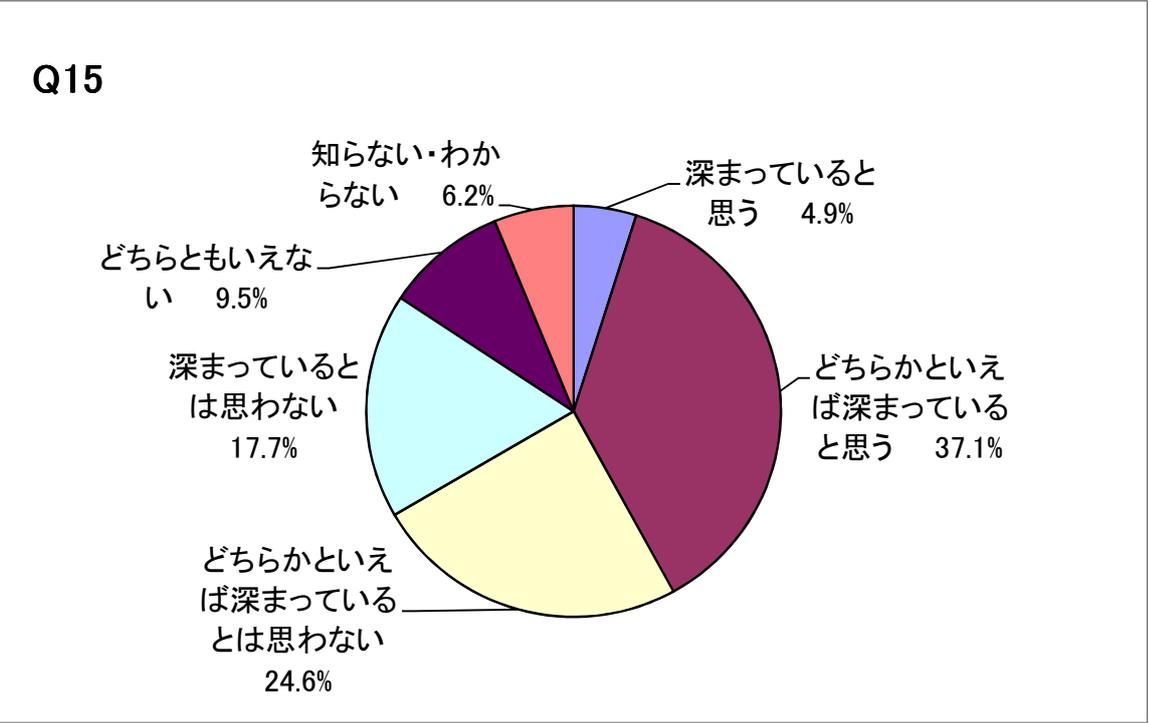
Q13 あなたは、平成16年に障害者基本法が改正され、「障害者に対して、障害を理由として、差別することその他権利利益を侵害する行為をしてはならない」ことが法律の基本的理念として明示されたことを知っていますか。



Q14 「障害者基本法」では、都道府県や市町村が、障害のある人々への支援や社会参加を進めるための基本的な計画（障害者計画）をつくることとなっています。この計画をつくるに当たって、意見や要望を出すことができる場が設けられるとしたら、あなたは参加したいと思いますか。



Q15 平成17年4月に、新たに発達障害者支援法が施行され、学習障害（LD）（※1）や注意欠陥／多動性障害（ADHD）（※2）、自閉症（※3）などの発達障害を持つ本人やその家族に対する支援が求められています。そのためにも、発達障害についてまわりの理解が重要ですが、あなたは、発達障害について社会の理解は深まっていると思いますか。



(※1)

学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指します。

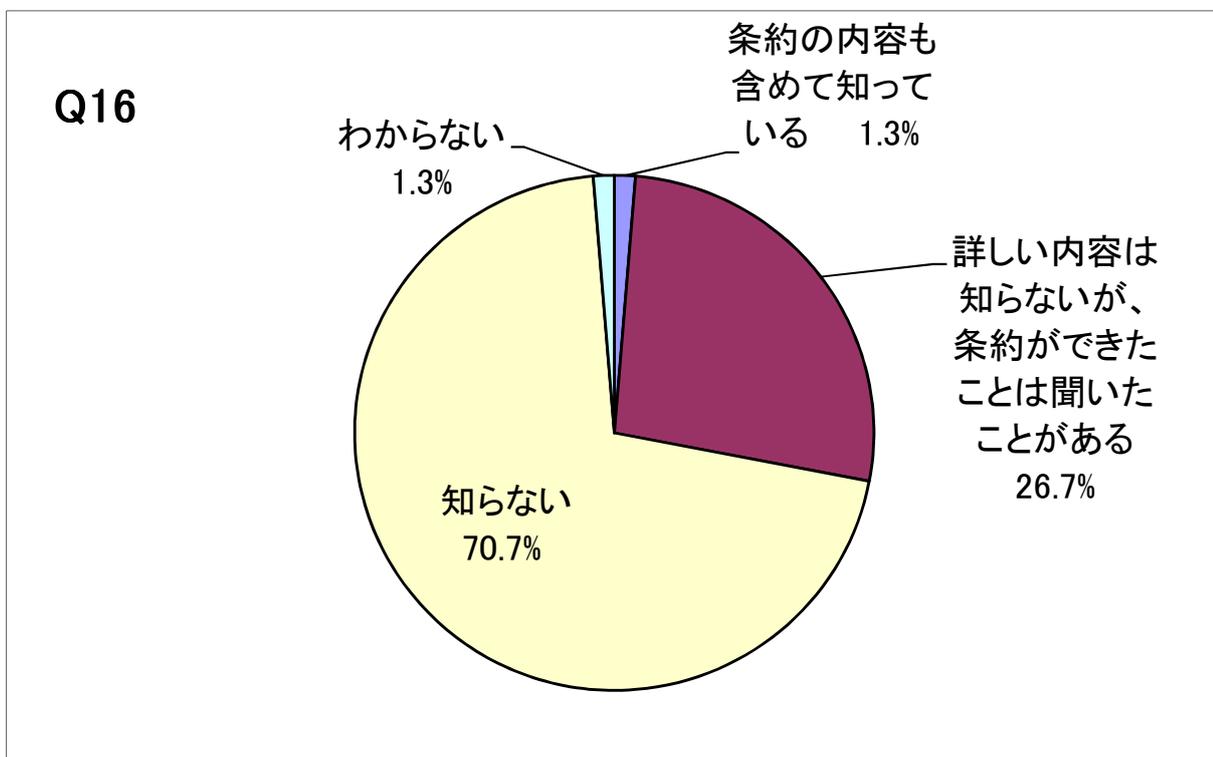
(※2)

注意欠陥・多動性障害 (ADHD) とは、注意力が乏しいか持続せず、衝動的で、年齢相応ではない状態をいいます。一部の子供には多動もみられます。

(※3)

自閉症は、生まれつきの脳の機能障害と考えられています。全般的な知能の遅れがある精神発達遅滞と異なり、認知、知覚、言語の障害が基本にあると考えられ、人とのコミュニケーション、物の認知などが苦手です。さらに特定な物事へのこだわりや、急に予定が変更になるなどの見通しが立たないことに対し嫌悪感を示すなどの特徴があります。

Q16 国連は、平成18年12月、障害者の権利や尊厳を保護・促進するため、障害を理由とする差別の禁止や、障害のある人が障害のない人と同じように暮らすためのさまざまな施策を包括的に定める「障害者権利条約」を採択しましたが、あなたはこのことを知っていますか。

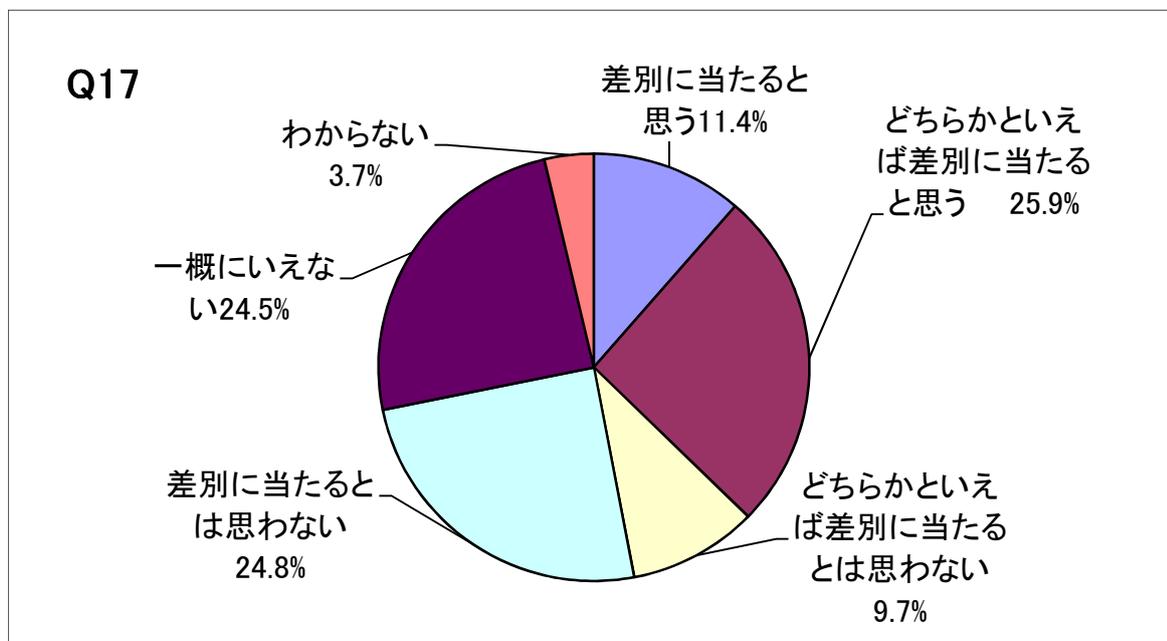


Q17 障害のある人とない人が同じように生活するためには、例えば、

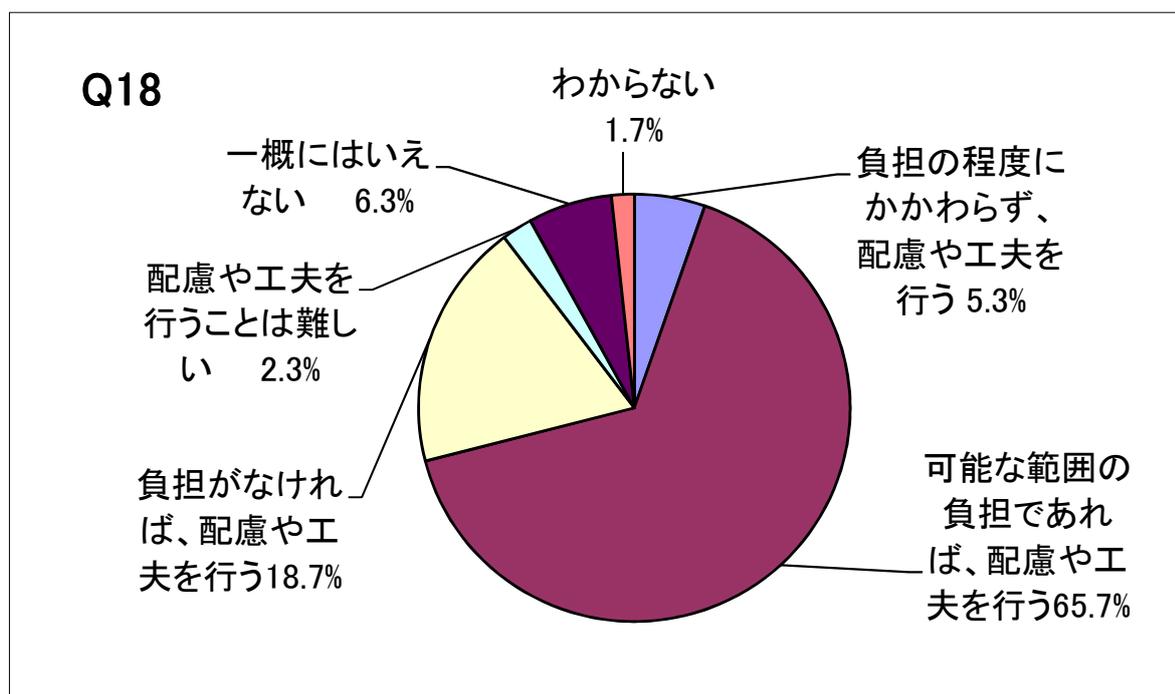
- ・ 車椅子が利用できるような商店やレストランの入り口のスロープやトイレの整備
- ・ 目の不自由な人や耳の不自由な人が地域の集会や会社の会議に参加できるように、点字の資料や、手話の通訳を用意

などいろいろな配慮や工夫が必要になることがあります。

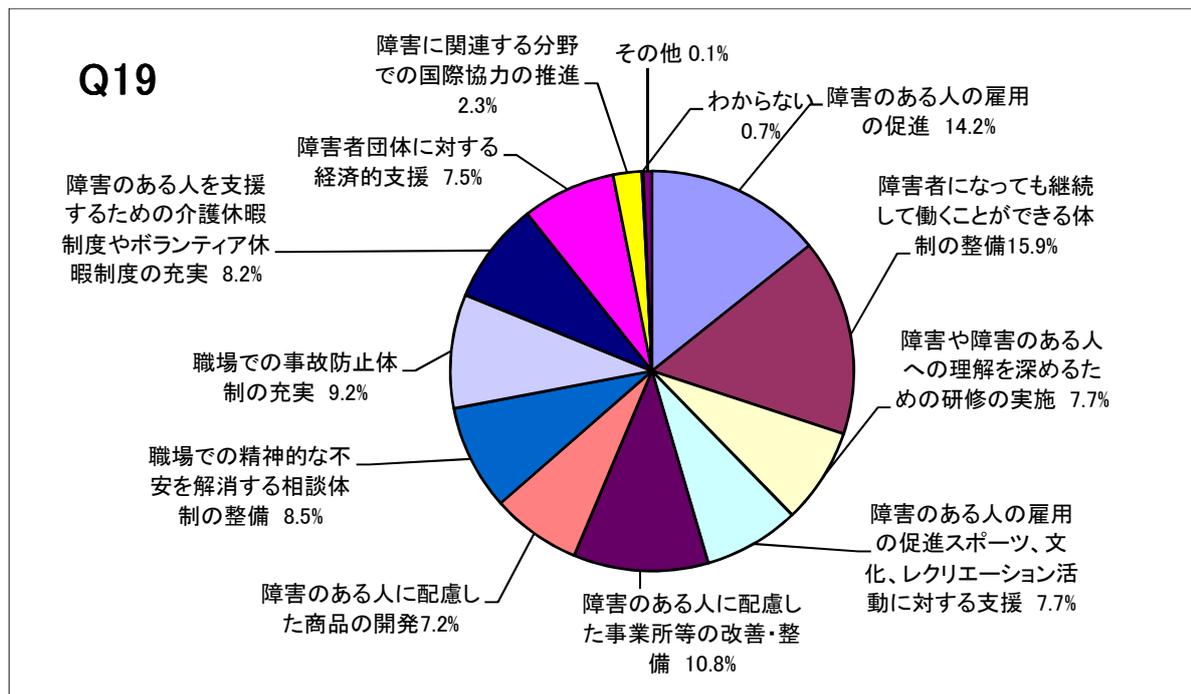
あなたは、こうした配慮や工夫を行わないことが「障害を理由とする差別」だと思いますか。



Q18 障害のある人とない人が同じように生活していくために必要とされるこうした配慮や工夫を行うことをあなたが求められた場合、経済的な負担を伴うこともありますが、あなたはどのようにしますか。



Q19 あなたは、障害のある人のために企業などの民間団体が行う活動について、どのようなことを希望しますか。この中からいくつでもあげてください。

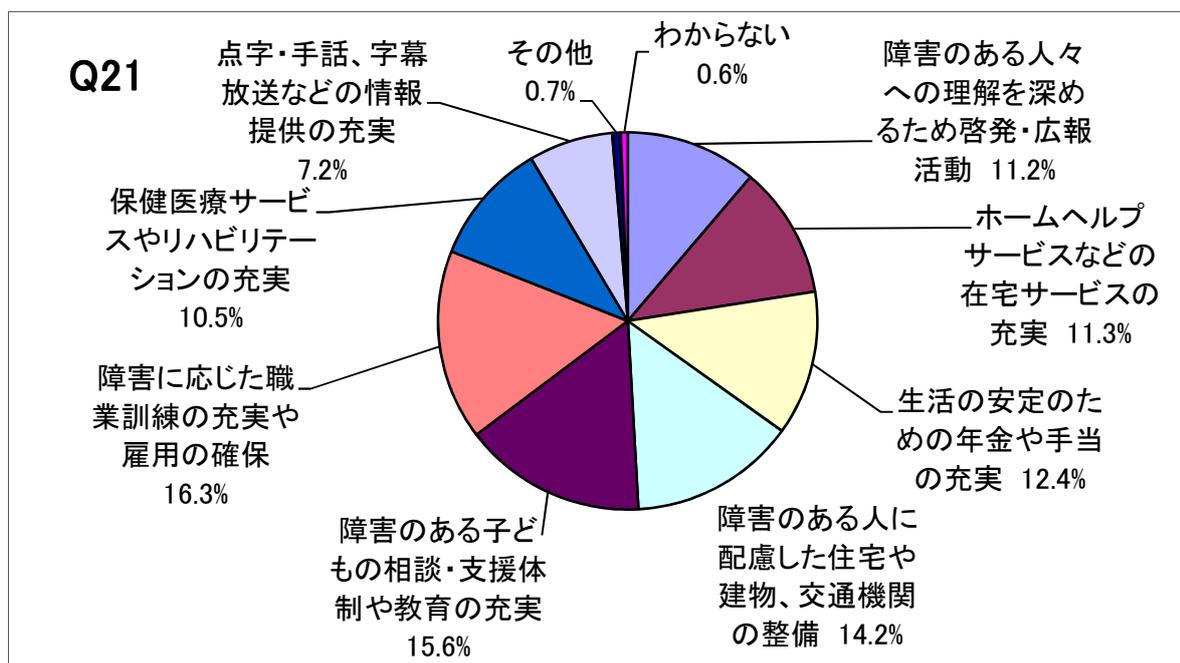


Q20 Q19で「(シ) その他」と答えた方は、希望する活動についてご記入をお願いします。

【主な回答】

- ・ 障害のある子の親の不安を取り除く。親が亡くなっても子が安心して暮らせるように。
- ・ 一部の障害のある人の中には、何もかも支援されたい甘えのある人もいる。極端なおんぶに抱っこは良くない。

Q21 障害のある人々に関する国や地方公共団体の施策のうち、あなたがもっと力を入れる必要があると思うものをこの中からいくつでもあげてください

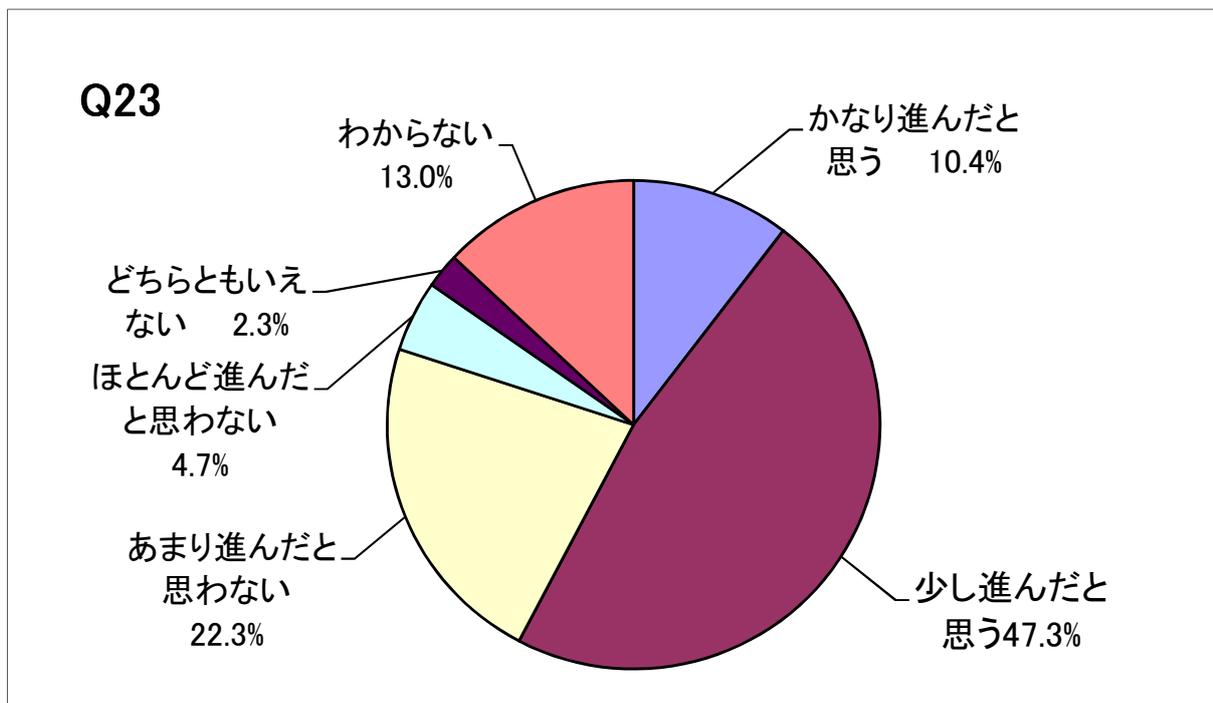


Q22 Q21で「(ケ) その他」と答えた方は、もっと力を入れる必要があると思うものについてご記入をお願いします。

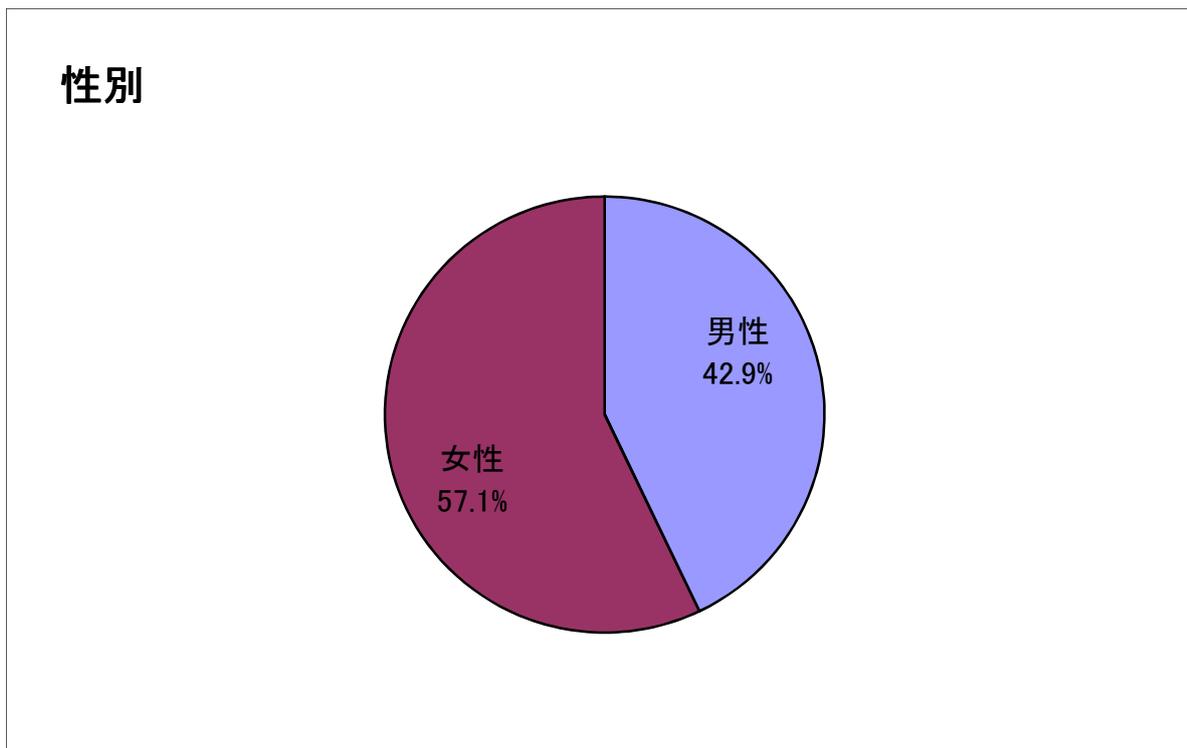
【主な回答】

- ・ 点字ブロック上へ自転車の駐輪がされている。
- ・ 障害のない人も協力できるような機関が必要。
- ・ 国、県、市が財源に余裕のある範囲で行う施策。
- ・ 子どもの時から一般の子と同じ学校になるべく通うことができるようにすることが障害のある人への理解に繋がると思う。
- ・ 人や国に言われなくても自然にサポートできる社会にしたい。
- ・ 障害のある人各自にあった制度、サービスを行い、障害のある人にサービスの説明をきちんとすべきだと思う。
- ・ 特別な事はしないでほしい。私の知る障害のある人は、自分は障害のある人であるから保護されるものだと言っているが、おかしい。
- ・ 施設を増やす等の環境の整備はもちろんです、ヘルパーさんの雇用環境を良くするのも方法なのではと思っている。詳しい状況は分からないが、介護士さんの勤務形態や賃金等、あまり良いとは聞いていない。賃金を含めた環境が良くなれば介護士になりたいという人が増えて、介護施設やホームヘルプなどのサービスが充実するのではないかと思う。何をするにも、それをしてくれる人がいないことにはどうにもならない。ハード面以外に、ソフト面に力を入れてほしい。

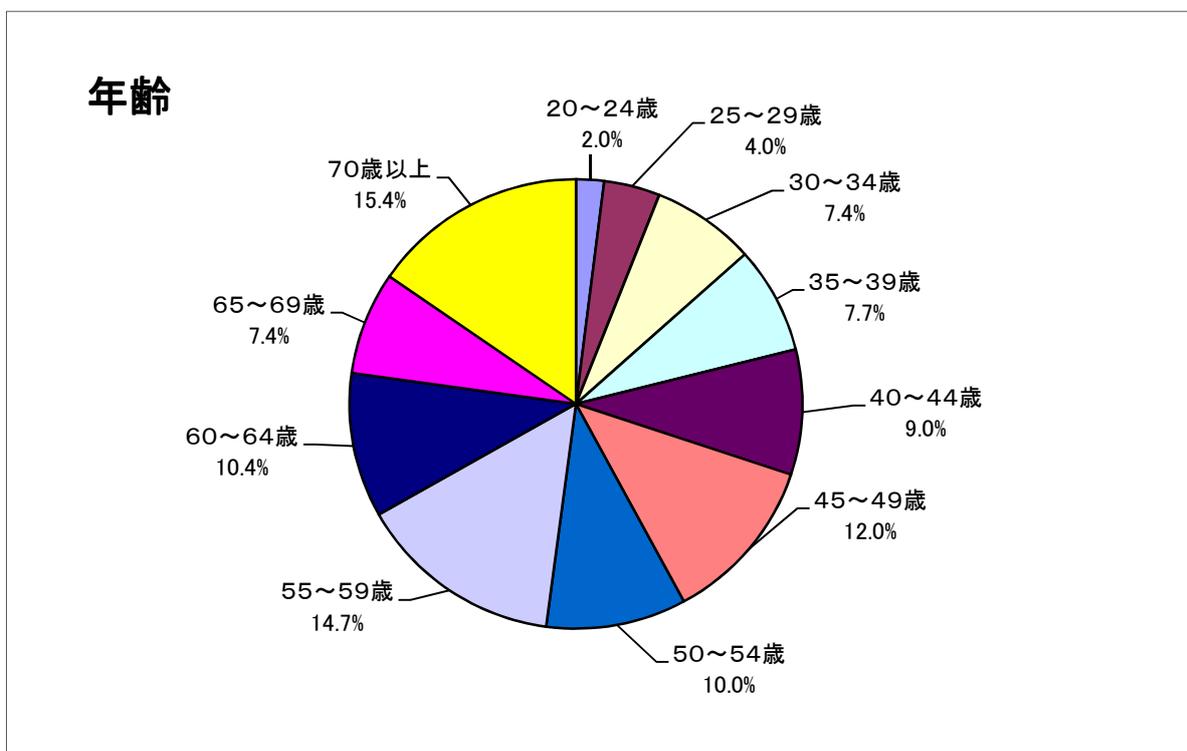
Q23 5年前と比べて福祉・教育・雇用・まちづくりなどの障害者施策は進んだと思いますか。



Q 2 4 〔性別〕 あなたの性別は



Q 2 5 〔年齢〕 あなたの年齢は



Q 2 6 [職業] あなたのご職業は

